



「オートシンポジウム 2016」を開催

2016年10月7日、新横浜プリンスホテル（神奈川県横浜市）において、自動車産業企業（34社、101名）を対象に「オートシンポジウム 2016」を開催した。

本シンポジウムは、「時代を読む ～未来のモビリティに対する挑戦～」というテーマで開催し、刻々と変化するモビリティ社会の中で、エネルギー会社として、過去から現在に至るまでどのような挑戦を行い、将来どのような挑戦をしていくのかという観点で、今回は『原油』、『水素』、『潤滑油』という3分野を選択し、講演を行った。また、特別講演として、宇宙飛行士の山崎直子様から『宇宙、人、夢をつなぐ』というテーマで講演をいただいた。

シンポジウム会場では、潤滑油、グリースの展示に加え、機能化学品カンパニーが手掛ける商品や開発品の展示も行い、自動車産業企業へ当社商材をアピールした。

今後、潤滑油カンパニーとして、「工作機械シンポジウム」、「マリンシンポジウム」とともに、本シンポジウムを定期的で開催していく予定である。

（潤滑油カンパニー 潤滑油販売部 自動車OEMグループ 鈴木 賢一）

シンポジウムの講演概要

講演者	講演概要
「最近の原油情勢と今後の見通し」 JX エネルギー株式会社 取締役 常務執行役員 細井 裕嗣	石油精製販売業を取り巻く環境の変化、国際市場における原油・石油製品の動向について講演
「水素社会実現にむけた JX の取り組み」 JX エネルギー株式会社 取締役 執行役員 新エネルギーカンパニー 水素事業推進部長 佐々木 克行	将来の水素社会実現に向けた当社の取り組みや乗り越えなければいけない課題に関する講演
「潤滑油の将来技術」 JX エネルギー株式会社 中央技術研究所 潤滑油研究所長 小宮 健一	将来的に当社が何を指して潤滑油を開発していくのか、技術革新へのあくなき挑戦をテーマに講演
「宇宙、人、夢をつなぐ」 宇宙飛行士 山崎 直子様	11年間の訓練の末に宇宙に行くという挑戦体験や、自身の宇宙体験の紹介から、未来のモビリティを考察



オートシンポジウム 2016の様子



特別講演：宇宙飛行士 山崎直子様



世界最大級の材料技術総合展 「高機能素材ワールド 2016」に出展

4月6日～8日、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催された世界最大級の材料技術総合展「高機能素材ワールド 2016」において、当社は、「第7回高機能フィルム展」、「第5回高機能プラスチック展」に出展し、有機系ナノ素材および高耐熱樹脂をテーマに開発品を含む当社製品の紹介を行った。国内外より、フィルムおよびプラスチック関連分野の多数のお客様にご来場いただいた。当初想定していた用途分野の有望顧客のみならず、想定していなかった新規分野のお客様にも当社素材を紹介することができ、新たなニーズ発掘につながる良い機会となった。

また、今回は、「第3回高機能金属展」に出展した、グループ会社であるJX金属とも連携し、お互いの出展製品の紹介を行うことで、JXグループとして、樹脂および金属分野における最先端の素材、技術をアピールすることができた。

（機能化学品カンパニー 開発企画ユニット 開発企画グループ 西澤 剛）

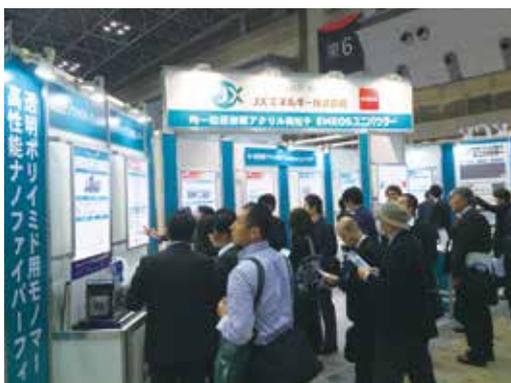
当社の出展内容

1. 第7回高機能フィルム展

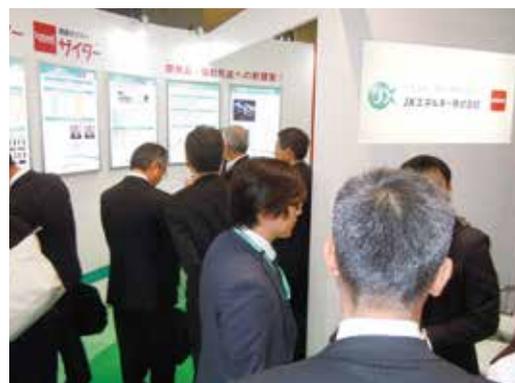
- 開発品を含む当社製品をパネル等で紹介
- 次世代の高性能ディスプレイ向け素材として架橋アクリルポリマー微粒子「ENEOS ユニパウダー[®]」の各種グレードおよび透明ポリイミドモノマーを展示
- 高性能フィルター向け素材としてナノファイバー不織布を展示

2. 第5回高機能プラスチック展

- 微細コネクタやスマートフォンのカメラモジュール等、高精度部品向けの素材として世界最高レベルの耐熱性を有する液晶ポリマー「ザイダー[®]」を展示
- 車載部品等向けに新たに開発した高摺動（摩耗・摩擦が小さい）樹脂を展示



「高機能フィルム展」の当社出展ブース



「高機能プラスチック展」の当社出展ブース